

LANACHRYS

(ラナクリス)

ゴールデンカモミールの7つの特徴成分によるヒドロキシラジカルの発生抑制

【特長】 南アメリカ由来の民間伝承治療薬『ゴールデンカモミール』
僅か 0.1%から、抗酸化・抗炎症・血流促進効果を示す濃縮エキス
希少なポリフェノール 7 種の複合作用により、ヒドロキシラジカルを強力に抑制

【コンセプト】

ラナクリスの主成分クリサンテルムインジクム

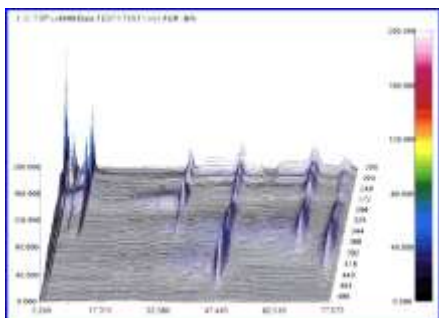
(Chrysanthellum Indicum)は、南アメリカ(ペルーやボリビア)を原産地とし、亜熱帯山脈地方の原生林にて発見されてるキク科の高山植物です。その由来は、雨季の終わりの柔らかな太陽の恵みから金色の花びらを咲かせることから、ギリシャ語の「Chrosus(金の意)」と「Anthemis(カモミールの意)」より派生した言葉で、英語に直訳した”ゴールデンカモミール”という呼び方が、現地ではよく知られています。



19世紀、民間伝承治療薬としてのクリサンテルムは、インディアンにより、アフリカに伝えられ、茎、葉、花とつぼみなど、全てが肝臓・胆汁・心臓病の治療、数種の炎症鎮静作用、傷の治療薬などの幅広い用途で、使用されました。Washing Plant(洗浄植物)、Heart Plant(心の植物)、Leaf for the Heart(心の葉)とも呼ばれ、この植物はアフリカとラテンアメリカの一般治療薬となり、中国の薬局方にも見られるようになっています。

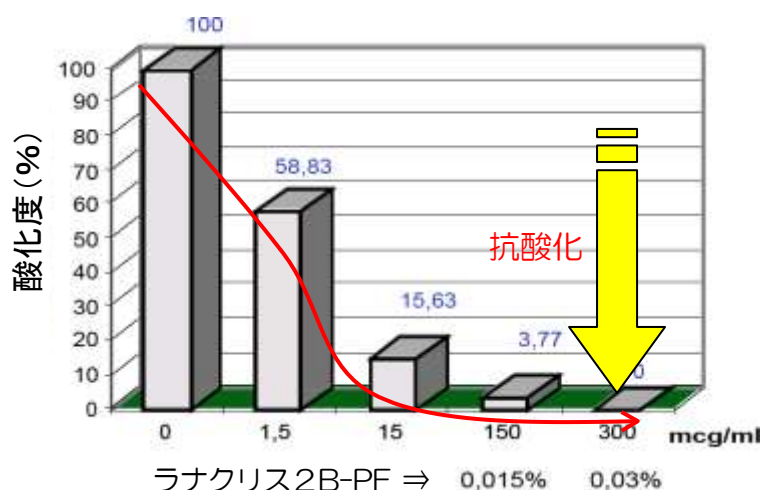
クリサンテルムインジクムエキスには、「クリサンテルリン A」「クリサンテルリンB」といった2つのサポニン、更に5つの希少なポリフェノールを含んでおり、計7つの希少な抗酸化成分の複合作用により、肌に様々な効果を示すことが長年にわたる研究により分かってきました。

1960年以降、フランス・ボルドー地方の医師Pierre Couderc によって、伝統的に使われてきた効能が、ポリフェノールの複合作用により、実際に特別な作

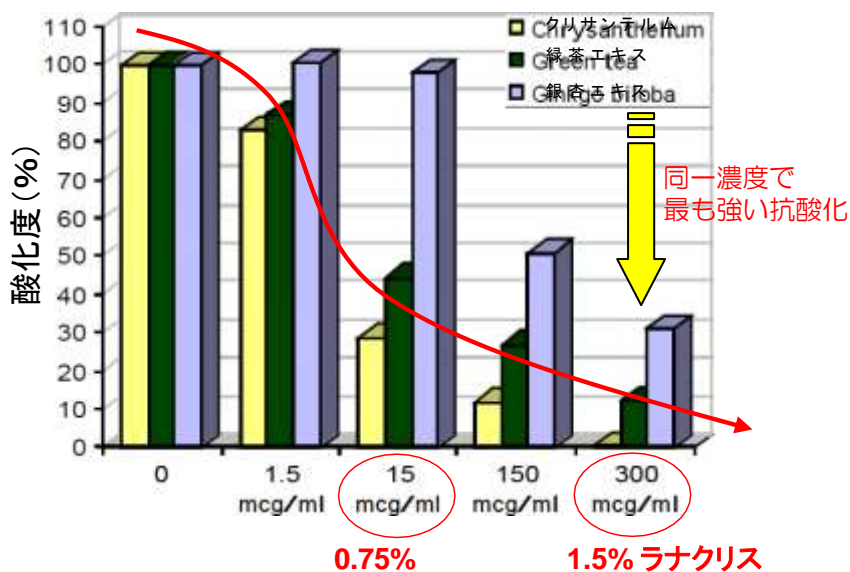


用を示すことが証明され、それ以降も、様々な薬理学作用が発表されています。
 UNIPEX の研究成果により、クリサンテルムに含まれる特徴的な7つのポリフェノールとサポニンにより、高い抗酸化力と肌を正常化する効果が分かってきました。

【効果・効能】 ヒドロキシラジカル(OH[·])の発生を抑制するか確認しました。



緑茶、甘草と比べ、ラナクリスの高い抗酸化(OH[·])効果



非常に低濃度で、強かに細胞毒性の高いヒドロキシラジカルの発生を抑制

【商品情報】

商品名: Lanachrys2B-PF (ラナクリス2B-PF)
 表示名称: クリサンテルムインジウムエキス、水、BG
 医薬部外品表示名称: お問い合わせください
 推奨配合量: 0.05%~1%
 製造元: Lucas Meyer Cosmetics

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、
 効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。

2009/9/1